

## 『自動車整備士 2 級ジーゼル 問題と解説 平成 28 年版』お詫びと訂正のお知らせ

弊社出版物「自動車整備士 2 級ジーゼル 問題と解説 平成 28 年版」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本書の内容に誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。訂正してお詫び致します。

頁数等	内 容	
第 1 章 基礎工学 2. 計算問題 10 電気回路 [3] 41 ページ 類題 【2】 計算式	誤	②合成抵抗の考え方から抵抗 $R_2$ を求めてみます。 回路に流れる電流 $=\frac{(24V-16.0V)}{10k\Omega}=\frac{8V}{10000\Omega}=0.0008$ AB間の合成抵抗をRとする。 $16.0V=0.00018A\times R$
	正	②合成抵抗の考え方から抵抗 $R_2$ を求めてみます。 回路に流れる電流 $=\frac{(24V-16.0V)}{10k\Omega}=\frac{8V}{10000\Omega}=0.0008$ AB間の合成抵抗をRとする。 $16.0V=\mathbf{0.0008A}\times R$
解答 第 1 章 基礎工学 69 ページ 右段 上から 4 段目	誤	45P 【1】 2 【2】 1
	正	45P 【1】 <b>1</b> 【2】 1
第 2 章 エンジン 4. 燃料装置 1 サプライ・ポンプ 113 ページ 【1】 2.	誤	2. Bは無圧送（プリストローク）行程であり、吐出量制御バルブがOFF（閉）している間は、吸入した燃料は吐出量制御バルブを経て昇圧されることなくリターンされる。
	正	2. Bは無圧送（プリストローク）行程であり、吐出量制御バルブがOFF（ <b>開</b> ）している間は、吸入した燃料は吐出量制御バルブを経て昇圧されることなくリターンされる。
第 2 章 エンジン 6. 燃料&故障原因探究 2 ジーゼル・ノック 159 ページ 【8】 4.	誤	4. ジーゼル・ノックとは、自己着火後の燃焼圧力及び燃焼圧力の上昇率が異常に高くなり、衝撃波を発生して、エンジンの機械部分を激しく振動させる甲高い打音を伴う状態をいう。
	正	4. ジーゼル・ノックとは、 <b>自己着火後</b> の燃焼圧力及び燃焼圧力の上昇率が異常に高くなり、衝撃波を発生して、エンジンの機械部分を激しく振動させる甲高い打音を伴う状態をいう。
解答 第 2 章 エンジン 165 ページ 左段 上から 14 段目	誤	92P 【1】 4 【2】 2
	正	92P 【1】 4 【2】 <b>3</b>
第 3 章 シャシ 6. タイヤ&ホイール・アライメント 6 タイヤの走行音 231 ページ 【1】 1.	誤	<input checked="" type="checkbox"/> 1. タイヤに荷量加わって発生する「たわみ」には、縦たわみ、幅たわみ、横たわみの3種類がある。
	正	<input checked="" type="checkbox"/> 1. タイヤに <b>荷重</b> 加わって発生する「たわみ」には、縦たわみ、幅たわみ、横たわみの3種類がある。
第 4 章 電気装置 5. 予熱装置 1 装置一般 338 ページ 【5】 1.	誤	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 電熱式インテーク・エア・ヒータは、ECUにより始動時のエンジン冷却水温度に応じて予熱時間を制御し、吸気の通路の途中に設けたエア・ヒータで、吸入空気を適正温度まで暖める方式である。
	正	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 電熱式インテーク・エア・ヒータは、ECUにより始動時のエンジン冷却水温度に応じて予熱時間を制御し、吸気の通路の途中に設けたエア・ヒータで、吸入空気を <b>適性温度</b> まで暖める方式である。